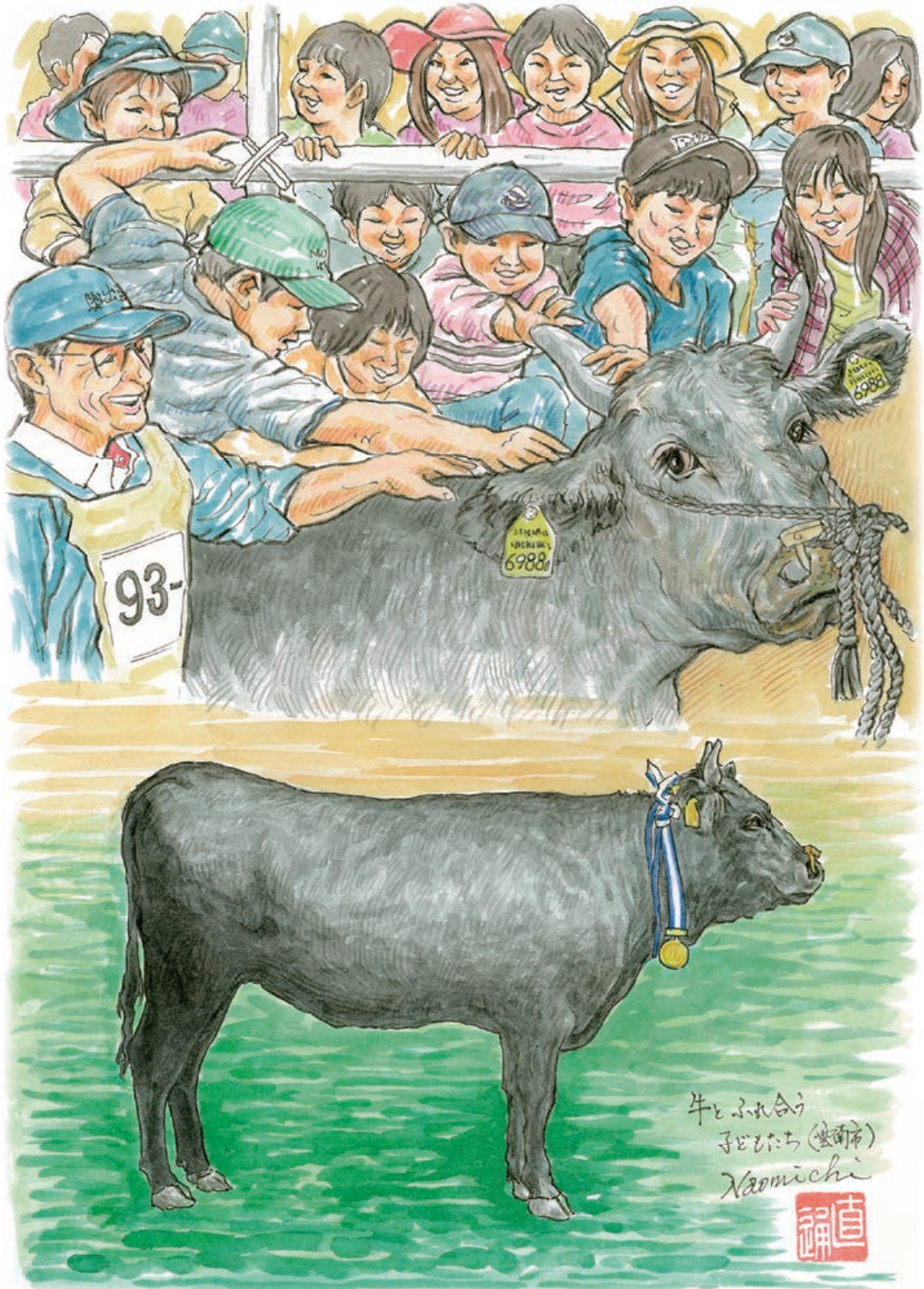


2018

# JAしまねびより 12

December Vol.33

**特集** 島根のいいもの再発見!! 「雲南市 みどりちゃん」 雲南地区本部 来月の外勤日は 1/16(水)・17(木)  
— 臨時総代会開催 —



島根には誇れる農産品がたーつくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー



素敵な笑顔とお話に、愛情を込めた野菜づくり、地域づくりへの想いをひしひしと感ずることができました。

## 【雲南市 みどりちゃん】

12月は、雲南地区本部。雲南市掛合町で、水耕栽培による「みどりちゃん」ブランドの野菜の生産に取り組む、(有)だんだんファーム掛合、代表取締役社長・香川昇司さんにお話をお伺いしてきました。



お話をお伺いした香川社長

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！



標高約200m、掛合町の日照条件の良い山間にだんだんファームのハウスは立ち並んでいる。

平成14年に町内の建設業者の経営者6人と賛同者13人とで「もつと元気な町づくり」に貢献しよう」と、だんだんファームを設立しました。今年で16年目になり社員5人、パート12人で野菜の生産をしています。すべての野菜を水耕で栽培しており細ネギやミニセロリ、サラダホウレン草、サラダ水菜を取り扱っています。みどりちゃんシリーズを生産している農家は現在、12戸・計2ヘクタールで生産しており、このうち約半分の出荷量を当社が担っています。ハウスは合計18棟、年間の生産量は細ネギが約53t、ミニセロリ約6t、サラダホウレン草約51t、サラダ水菜約32t前後を生産。県内をはじめ関西や山陽方面に出荷しています。

**農業経営をはじめたきっかけや概要を教えてください。**



薄膜型で育てられるサラダホウレン草



湛液型で育てられる細ネギ

**水耕栽培はどのようにして行っていますか？**  
 ハウス18棟のうち細ネギ・ミニセロリ用に8棟、サラダホウレン草・サラダ水菜用が8棟、それぞれの育苗用に各1棟使用しています。幅8・5m、長さ67mのハウス内に高床の栽培ベンチを設け、一定間隔で穴を空けた専用の発



緑の絨毯（じゅうたん）という表現がピッタリなほど、衛生的に管理されたハウス内に作物の緑が映える。

泡スチロールパネルを敷いて穴に苗を植えます。細ネギとミニセロリは根を培養液に浸す湛液型（たんえき）で、サラダホウレン草とサラダ水菜は培養液を浅く流し続ける薄膜型（はくまく）を採用しています。水耕は春夏秋冬、年間を通して栽培できるほか土耕に比べて1.5倍程度、成長が早いとされています。そのため1年で栽培する回数を増やすことができ、細ネギ・ミニセロリでは年間7回余り、サラダホウレン草とサラダ水菜は17〜19回前後、繰り返し生産しています。

### 水耕栽培のメリット、デメリット、こだわっていることなどありますか？

メリットとして水耕栽培は、季節にとらわれることなく温度管理することにより一年中栽培することができ、

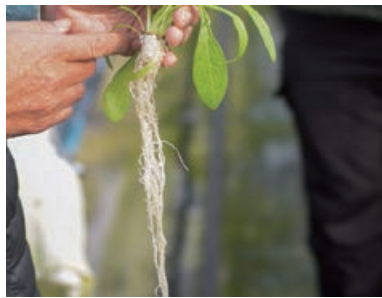
デメリットとしては、設備

投資に費用が掛かりハウス内の温度、水温、送風機等を管理するための光熱費用が周年で必要になってきます。また狭い場所で栽培するので、病気が発生するとハウス内に広がるため水質やハウス内の管理を徹底しています。

また、野菜の価格変動等により、出荷できないリスクを軽減するため、細ネギ、ミニセロリ、サラダホウレン草、サラダ水菜と品目を分散し計画的に生産しています。平成23年には優れた品質と安全性を第3者機関の判断をもとに県知事が認証する「美味しまね認証」をみどりちゃんグループ全員で取得しました。手洗い、ハウス内の清掃など徹底した衛生管理を行っています。サラダホウレン草やサラダ水菜などは悪い雑菌が付くと病気が発生するので、水道水（他の生産者は水質検査を行った地下水）を原水に使用。栽培当初から太陽熱システムを活用し60℃の温水で殺菌消毒し、できるだけ農薬を使わないように工夫しています。

### 水耕で育った野菜は味の違いはありますか？

水耕の野菜は柔らかくて癖のない味になります。サラダホウレン草やサラダ水菜は生のままでも食べられるので「サラダ」という名前を付けています。ネギも辛味が少な



水耕栽培された作物はとにかく綺麗で根っこまで真っ白。



生野菜が少し苦手な取材班も試食させてもらい、そのうまさに納得。

## みどりちゃん 一口メモ

雲南地区本部では水耕野菜のブランドとして「みどりちゃん」を創設し、生産農家全員で品質の良い製品を安定供給するため、産地全体で品質向上、栽培マニュアルの統一や計画的な生産、販売促進等を戦略的に推進している。平成20年にはJGAP（日本版の適正農業規範）の団体認証を受け、現在は128項目にわたる基準をクリアした「美味しまね認証」を取得、安全野菜の生産に邁進している。標高200m余りの中山間地域での大型水耕栽培に取り組むだんだんファームは地域の雇用と産業創出を生み出し、今後の更なる活躍が期待されている。



### 今後の抱負や展望を聞かせてください。

水耕栽培には、1年を通してまんべんなく管理する必要がありますが、逆に言うところ周りで仕事があるという良さでもあります。当社の社員は20

く手巻き寿司の具として生のままスティック状で使っているだけです。サラダや蒸し鍋、野菜しゃぶしゃぶなど老若男女問わず家族の皆さん全員で食べてもらえたいと思います。以前、地元の小学3年生全員にサラダ水菜やサラダホウレン草を食べてもらったことがあります。ホウレン草が食べられない子供でも食べるのができました。イメージとしては5月の山菜の新芽に近い感じでしょうか。味や食感のほかにも、根っこを切ってサッと水洗いするだけで食べられる「手軽さ」があり、お客さんにも喜ばれています。



地域の雇用と産業創出。香川社長の熱い想いが着実に根をはりだしている。

30代の若い世代で構成しています。将来的には全員に任せる施設を作って永続的に携わって欲しいと考えています。当社のモットーである「人を幸せにする野菜づくり」は働く人のため、美味しい野菜を心待ちにしている消費者のため、という想いからです。「みどりちゃん」ブランドの野菜を今後も大切に作り続けていこうと考えています。



議長団 (向濱総代(左)、熊谷総代)

当日は、総代定数1,000人(欠員11人)に対し、963人(本人出席541人、委任状5人、書面出席417人)の出席。議長団に向濱樽幸氏(隠岐とうぜん地区本部)、熊谷直道氏(石見銀山地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、運営体制改革にかかる定款変更等の臨時総代会議案が可決承認されました。

開会にあたり竹下組合長は「6月の総代会以降、協議を重ね本日の運びとなった。ご承認をいただき、組合員目線の改革をすすめたい」とあいさつしました。JAしまねでは、平成30年6月24日の通常総代会で「運営体制改革の取り組みについて」の決議により、改革の骨子とスケジュール等の承認を受け、平成31年6月通常総代会での役員改選以降の新体制を目指して検討・協議をすすめてきました。

この経過を踏まえ、この度の臨時総代会では定款の変更を議案として提出し、可決承認されました。主な内容は、次のとおりです。

- **役員定数の削減**  
理事65人を40人に、監事9人を6人に削減します。(うち常勤理事は33人を17人に削減します)
- **常勤理事体制**  
常勤理事を本店に5人、各地区本部に1人(出雲地区本部は2人)配置します。また、本部長を補佐する役割として、くにびき地区本部および雲南地区本部へ執行役員を各1名、全ての地区本部へ統括部長(兼務)を配置します。
- **運営委員会の強化**  
組合員の意思反映の重要な組織として、地区本部運営委員会を強化することとし、多様な組合員の意見が反映されるよう、役割を再確認するとともに構成の見直しを図り、また委員会の運営を報告中心から意見交換中心の運用となるよう見直します。

この度の議案の可決承認を受け、JAしまねは、厳しさを増す諸情勢のなかで、新たな体制のもと、組合員の意思反映・議論の場を確保しながら、迅速・的確な判断・意思決定を行います。また、協同組合としての民主的運営と健全経営のバランスをとりながら、1JAとしての効率化、統合メリットの一層の発揮に向け、新たな運営体制を構築し、スピード感のある改革と、組合員へのサービスマ向上に努めてまいります。

## 臨時総代会 Q & A

**質問**… 役員年齢制限について、内規では「70歳」と定められているが、現在の農業従事者の平均年齢71歳を踏まえ、定年延長について検討してほしい。

**回答**… 統合以前の状況や各県の状況を考慮し、70歳とした経過があります。今後、変更が必要な状況となった際には検討いたします。

**質問**… 非常勤役員削減数が少ないように感じることがある。

**回答**… 非常勤理事についても半数程度の削減を行います。女性層の意思反映のため女性枠を拡充し、また若年層の意思反映のため青年枠を設けています。皆様の意思反映を考慮した運営体制を目指していますので、ご理解願います。

**質問**… 運営委員会を再構築するところだが、現在どのような問題があるのか。

**回答**… 地区本部執行部からの報告事項が中心となっている現状から、運営委員会を通して地域の声を執行部へ投げかけるという本来の姿とするため、再構築を図るものです。

**質問**… 組合員の世代交代が進むなか、組合員が離れていくことの無いよう、今回の改革が運営に負の資産として尾を引かぬよう、協同の精神のもとでよりよい島根の農業を目指してほしい。

**回答**… 地域に根差した農業、儲かる農業の実現、地域組合員の繁栄に向け、まずは身を切る改革を行わせていただきます。組合員の皆様に、引き続き統合メリットを受けていただけるよう、健全経営を堅持する仕組みを作り上げてまいります。

この他にも幅広くご意見をいただきました。



# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

## 【邑南町】 鵜瀬 頼秀さん・敬子さん

鵜瀬さんは邑南町で、園芸作物（露地・施設）を中心に農業経営をしています。

平成26年に、邑南町が主催しているU・Iターン者を対象とした農業体験に参加したことをきっかけに、大阪市から邑南町に移住しました。農業法人や園芸農家での研修を経て、平成29年1月に夫婦で就農しました。もともと畜産経験があったため、水田放牧を行っている農業法人で構成員として畜産経営も手伝っています。



野菜栽培の経験はなかったため、町内の園芸農家の元で研修を積み、地域住民と交流を図るなかで農地を確保し、野菜の栽培をスタートしました。本格的に就農するにあたってハウスが必要と考え、JAしまね農業振興支援事業施設等整備支援を活用し、平成28年にハウス2棟を整備しました。現在、施設内ではキュウリを中心とした作物の栽培をしています。露地では、なす、葉物野菜、タマネギなど多品目の栽培に挑戦し、どの品目の収益性が高いか、夫婦で作物分担を行いながら日々研究をしています。

今後は個人のハウスの増棟や経営面積の拡大を図り、農業法人の水田放牧にも引き続き携わり、地域と一体となって営農に従事していきます。

### 全組合員調査のお願い

#### 組合員の皆さまの ご意見をお伺いする 取り組み



JAでは平成31年から全ての組合員の皆さまを対象とした全組合員調査を実施します。

調査では、現在JAが取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いします。

組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。

つきましては、全組合員調査への組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

### 理事会情報（10月30日開催）

#### 協議事項

- ①大口貸出金の承認について
- ②平成30年9月末仮決算について
- ③業績還元のお考え方について
- ④次期中期経営計画（平成31～33年度）における本店損益配賦基準について
- ⑤職制規程の一部改正について
- ⑥農林中央金庫への劣後ローンおよび後配出資の対応について
- ⑦出資口数の減少（減口）の承認について
- ⑧行方不明組合員等の脱退手続きに係る資格確認について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

雲南

## 長期格納前に農機点検 鍋山アグリサポーターズ

雲南市三刀屋町鍋山地区の若手農業者らが組織する鍋山アグリサポーターズ（NAS）は11月4日、農業機械の長期格納前に点検講習会を開きました。

雲南地区本部農業機械課の難波博貴職員がコンバインやトラクターのセルフメンテナンスの項目を解説し「講習内容をもとに点検してほしい」と呼びかけました。

NAS代表の柳原昌広さん（53）は「農業機械の故障や不具合は、多大な機会損失にもつながる。自分たちの財産を守るためにも怠らないようにしたい」と話しました。

同地区では一昨年に、鍋山担い手ネットワーク協議会が設立され、組織や集落の枠組みを超えた連携を図り、農業生産活動の体制整備を進めています。今春6月には新たにNASを設置し、担い手育成に向けた講習会などの充実化を目指しています。



トラクターのメンテナンスについて解説する難波職員

隠岐

## 隠岐の島町 いきいき祭りでにぎわい

11月25日（日）、隠岐の島町、隠岐島文化会館において「いきいき祭り」が開催され、隠岐地区本部からも参加いたしました。

当地区本部からは、「しまね和牛」および管内で生産された特別栽培米「島の香り隠岐藻塩米特選さぬむすめ」のPRのため、しまね和牛の鉄板焼きと隠岐で飼育された闘牛肉と藻塩米を使用した牛丼を格安で提供しました。おいしい黒毛和牛肉を食べられるとあって長蛇の列となり、お昼時には完売するほど盛況でありました。また、同会場において隠岐の島町畜産共進会を開催し、田中美砂子さん（隠岐の島町都万）飼育の繁殖若雌「たかやす」号がグランドチャンピオンとなりました。



くにびき

## くにびき農業法人会 児童養護施設に新米を寄贈

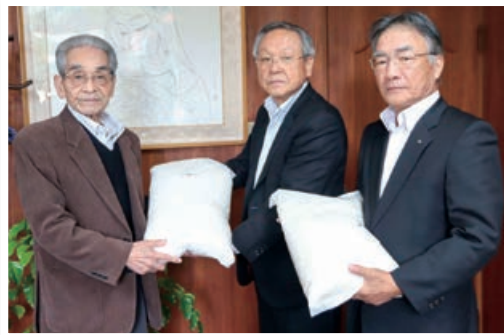
くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は10月30日、児童養護施設双樹学院（小林康熙院長）へ地元産の新米348キロを贈りました。

同会は、くにびき管内の17組織で構成されており、2011年から地域貢献活動の一環として、各法人に米の提供を呼び掛けて同学院に新米を寄贈しています。

当日は、農事組合法人のぞみの里古志ファームの長野博代表理事組合長と農事組合法人林本郷の福岡泰正理事が代表して訪問。新米10キロ入りの袋を小林院長に手渡しました。

小林院長は「育ち盛りの子が多く、お米の寄贈はとてもありがたい。子ども達には感謝して食べてもらいたい」と謝辞を述べました。

同会は引き続き、双樹学院に新米を贈呈します。



やすぎ

## おむすびでニコニコ

JAしまねやすぎ女性部が、地区本部の各支店でJA職員などへ感謝の気持ちを込めておむすびを振る舞いました。米の消費拡大のためJAしまね女性部が取り組む「ニコ（2個）・ニコ（2個）おむすび大作戦」の一環として、やすぎ女性部は「おむすびバイキング」を企画しました。

島根県産つや姫の新米を使用し、定番の塩おむすびや昆布おむすび、ちょっと工夫をこらしたカリカリ梅おむすびやゴーヤの佃煮入りおむすび、今が旬のサツマイモおむすび、豪華なたらこおむすびやサザエの炊き込みご飯おむすび等、各支店でオリジナリティーあふれるおむすびに加え、安来産野菜を使用した具たくさん汁等を考案し振る舞いました。食べ終えた職員は「おいしいおむすびでこれからの業務に励めます」と話しました。



## 斐川

### そば「出雲の舞」収穫

11月8日、斐川地区本部が管理する約5aの圃場で、今年の8月に種を蒔き、約70cmに成長したそば「出雲の舞」の収穫作業を行いました。くらしの活動事業の一環として「自分達で栽培し、収穫したそばを打って美味しく食べよう」と企画され、同町のそば生産者である糸賀充さんを講師に迎え、そば好きの地域組合員6名とJA職員が鎌を使って刈り取り、束にしたものをはで場に干していきました。台風による影響で倒伏している箇所も見られましたが、順調に成育し、たくさんの実をつけたそばが出来ました。参加者は「実際に種を蒔き、収穫することは始めて。汗を流して作った分、そばを打って口に入れるのが楽しみです」と期待を込めていました。今後は、2週間ほど乾燥させた後、脱穀したそばの実を唐箕を使って選別する予定となっています。



刈り取ったそばを束にしていく様子

## 隠岐 どうぜん

### 海士町産業文化祭開催

11月17日・18日の両日、海士町役場周辺を会場として、第48回海士町産業文化祭が開催されました。会場には初日から祭りを盛り上げようと沢山の出店が並び、海士支店も地元のJAらしさを意識した、地場産農産物の米・もち米・みかんや、JA農産加工場で製造した赤飯・餅などの加工品を販売しました。また特設会場では、農業機械の展示・販売が行われました。2日目には、隠岐開発総合センターで、「はくさい・だいこん・ねぎ」の3品目による野菜品評会が行われ、外観の美しさ等の審査基準による品目ごとの金・銀・銅賞が発表されました。さらに、役場庁舎前では海士町畜産共進会が開催され、畜産農家自慢の12頭の子牛が出品されました。厳正な審査の結果、昨年に続き戸嶋正史さんの愛牛「ふく号」がグランドチャンピオンに輝き、見事2連覇の栄冠となりました。肌寒く雨も心配されましたが、賑やかな産業文化祭となりました。



## 石見銀山

### 農青連盟友が農大生に ポン菓子作り指導

JAMまね石見銀山青年連盟は11月8日、大田市内のJA米倉庫で、島根県立農林大学校の学生19名にポン菓子作りを指導しました。

同校は11月に開催するイベントで、ポン菓子を初めて販売するため、地元の農青連に指導を仰いだものです。

農青連が作るポン菓子は、JAふれあい祭での人気商品となっています。

この日は、水飴の作り方やポン菓子機の使い方など盟友が丁寧に指導しました。

農青連では、農業や組織のあり方を内外にアピールする「ポリシーブック」を制作しており、後継者育成の一貫として「農大生との交流」を活動計画として掲げています。

竹下幸二委員長は「今までありそうでなかった交流なので機会が持てて嬉しい」と語りました。

農青連は今回の交流をきっかけに農大生との座談会等の開催を検討中で、組織や大田市の農業に関心を深めてもらう機会を増やしていきます。



ポン菓子の作り方を指導する農青連盟友

## 出雲

### 強盗対応訓練実施 防犯への意識高める

出雲地区本部は10月25日に西田支店、10月29日に上津支店で強盗対応を想定した訓練を実施しました。この訓練は非常時に冷静な対応ができるよう、出雲警察署と連携して各支店で定期的を実施しているものです。

訓練は、強盗に扮する警察官が刃物を突きつけて人質を取り、現金を奪って逃走する想定で実施。大声で脅され続ける中、職員はそれぞれの役割に従い冷静に対応しました。訓練後、警察署の方からうまく対応できていた点や注意すべき点を総括いただき、利用者様、職員の安全を最優先に考えて対応するよう指導を受けました。

上津支店の福田哲也支店長は「強盗役の予想外の行動もあったが、職員も落ち着いて対応してくれた。いろいろな状況を想定できた」と話しました。



人質に取られる福田支店長

## 西いわみ

### 法人が学校給食用に お米を無償提供しました。

津和野町の農事組合法人で作る「わくわくつわの協同組合」（理事長糸賀盛人）は10月31日、同町奥ヶ野の「おくがの村ライスセンター」で学校給食用米の贈呈式を行いました。津和野町内の小中学校へ3トンのコシヒカリを無償提供します。

この量は、町内児童生徒約400人の年間消費量の3分の1に相当します。

贈呈式では、糸賀理事長が「農業の大切さとふるさとの味を覚えてほしい」と、町立木部小学校児童に手渡し、お礼に児童らが歌をプレゼントしました。

お米は組合に加盟する12の法人が提供し、JAしまね西いわみ地区本部が精米し各学校に配ります。



贈呈式に出席した児童らに、食の大切さを説く糸賀盛人理事長

## 島根おおち

### 女性部腹部超音波検診

島根おおち女性部桜江支部は11月16日と22日、健康管理活動として桜江営農生活事業所駐車場で腹部超音波検診を行いました。腹部超音波検診は血液検査ではわかりにくい各臓器の状態を検査するもので、痛みもなく簡単に検査を受けられることから、当初は1日で行う予定の検診に56名の申込があったため、急遽2日間に分けて検診を行うこととなりました。22日には川本支部でも検診を行い、三原公民館にて12名が検診を受けました。

また16日には、腹部超音波検診実施に合わせ、金融共済部と組合員課で胸部CT検診も同時に行いました。胸部CT検診には女性部からの声掛けもあり、男女合わせて22名の方が受診しました。

会場内では、「検診は必ず受けるようにしている」、「検診を受けることで安心できる」と言った声も聞かれ、島根おおち女性部桜江支部の田野部長は「多くの方に検診を受けてもらえてよかった。行政機関等でも行われているため受診の機会は多くなっているが、今後も部員の健康管理のため定期的に検診を行っていきたい」と話しました。



## 本店

### 各地で共進会を開催

#### ●西部地区子牛共進会

10月26日に西部家畜市場で平成30年度西部地区子牛共進会を開催し、西部地域から選抜された肉用雌子牛18頭の出品がありました。

審査の結果、最優秀賞には、益田市の佐々木恵美さん出品牛「こはる号」が選ばれました。



最優秀賞に選ばれた佐々木さんの出品牛「こはる号」

#### ●島根中央子牛共進会

10月31日に島根中央家畜市場で平成30年度島根中央子牛共進会を開催し、東部地域から選抜された肉用雌子牛39頭の出品がありました。

審査の結果、各区の優秀賞首席は1区奥出雲町の部田泰久さん出品牛「あいか号」、2区飯南町の竹田原護さん出品牛「やまゆり号」が授賞し、竹田原さんの「やまゆり号」はグランドチャンピオンにも選ばれました。



グランドチャンピオンに選ばれた竹田原さんの出品牛「やまゆり号」

## いわみ中央

### 「柿の日」イベント

～いわみ中央西条柿生産組合品評会 力作並ぶ～

いわみ中央地区本部は、10月26日（金）の「柿の日」、きんさい市場黒川店前で、西条柿生産組合主催の品評会を行いました。一年間丹精込めて栽培された西条柿（2.5kg箱）31点が出品され、関係機関の厳密な審査が行われました。今年は、夏の猛暑に干ばつ、9月以降の長雨により栽培管理が難しい状況でありましたが、出品された西条柿はどれも甲乙つけがたい品質でした。審査の結果、上位5名の方が見事に入賞されました。

また、当日は品評会に出された品を即売し、消費者へ西条柿のおいしさをPRしました。

稲垣薫生産組合長は、「今後も品評会を継続し生産者の栽培技術向上に努め、消費者へ西条柿のおいしさをPRしていきたい」と意気込みを語りました。

- 最優秀賞 太田 靖男(田橋町)
- 優秀賞 串崎 美之(東平原)
- 優良賞 平木 正美(東平原)
- 努力賞 原 征四郎(周布町)
- 努力賞 稲垣 薫(田橋町)



最優秀賞を受賞した太田さん



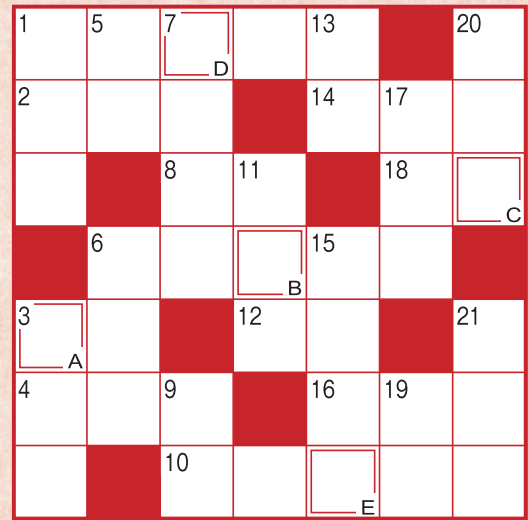
## タテのカギ

- ①障子よりは破れにくそうな建具
- ③彼は——東西の文学に詳しい
- ⑤素振り中のバットが切るもの
- ⑥テンサイなどから作られる調味料
- ⑦漫談家が巧みな——で場を沸かせた
- ⑨カキやタイラギ、トコブシなど
- ⑪——考査。——手当
- ⑬寒い日には氷が張ることも
- ⑮平成31年の十二支は
- ⑰鬮に使われる鳥。漢字で書く
- ⑲農具や収穫物を入れておく建物
- ⑳壁の——から風が吹き込んだ
- ㉒旅客機に乗ってためる人もいます

## ヨコのカギ

- ①輪郭を描いた紙に目や鼻などのパーツを並べて遊びます
- ②1、2、3や一、二、三など
- ③『春の海』や『六段の調（しらべ）』を奏でる楽器
- ④小銭入れに入れる物
- ⑥鹿児島産焼酎の原料の多くはこれ
- ⑧空からちらちらと降ってきます
- ⑩山田太郎さんだったらT・Y
- ⑫怒ると頭に生えるかも
- ⑭車窓を流れていくもの
- ⑯剣道で使う武器
- ⑱ご来光を見るために登る人もいます

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え 

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒694-0041 大田市長久町長久ハ56-1  
JAしまね 石見銀山地区本部 企画推進課 「クイズ」係  
平成31年1月5日（土）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「トシワスレ」



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

## けんこうさんぽ 健康散歩 JA島根厚生連

## 冬のかゆみ対策

冬になると、多くの人が皮膚のトラブルに悩まされます。この時期は空気が乾燥するため、皮膚から水分が失われてしまい、乾燥やかゆみ、湿疹などにつながります。今回はそんな冬の皮膚トラブルから、かゆみについて日常生活でできる対策を考えていきます。

・入浴  
熱い風呂や長湯は、血行がよくなることで神経が刺激され、かゆみにつながるため注意が必要です。また、入浴すると皮脂が溶けてしまいます（皮脂は天然のクリームで、皮膚の水分が蒸発するのを防いだり、細菌や刺激物質などが体内へ侵入するのを食い止める役割があります）。お湯の温度が高いほど溶けるスピードが早まります。そのため、お湯は39～41℃で、つかるのも15分以内が望ましいです。

体を洗う時も、タオルでゴシゴシすると角質層（皮膚のバリア機能）を落としてしまいかゆみの原因になります。基本的には石鹸をよく泡立て、手で優しく洗います。

・保湿剤  
保湿剤は1日1回塗るようにします。塗るタイミングは、入浴後10分以内が望ましいです。皮膚の乾燥の程度によって塗るものを変えるといいです。ローション↓乳液↓クリーム↓ワセリン・軟膏の順に保湿力が高くなります。

・暖房器具  
部屋を暖めると空気が乾燥し、皮膚も乾燥しやすくなります。暖房を使う時は同時に加湿することも大切です。こたつや電気毛布も皮膚の乾燥につながります。

・衣類  
肌着や衣類でも、素材によっては皮膚を刺激してかゆみを強くすることがあります。綿製品などは滑らかな素材で刺激が少ないためオススメです。

かゆみ対策の大きなポイントは2つ。「皮膚を乾燥させないこと」「皮膚に過剰な刺激を与えないこと」です。ぜひ、自分の生活でできそうなものから始めてみてください。



大江高山神楽社中



# J Aふれあい祭

～食と農の祭典  
生まれる地域の元気と笑顔～

大抽選会



J A石見銀山地区本部は11月10日、同地区本部で「J Aふれあい祭」を開催しました。また、J Aグリーンおおだ・すいせんの里・ぎんざん市場では、9日と同日の2日間、ご利用感謝セールを開催しました。



あか穂もち実演販売



銀山あゆみ太鼓

農産物特売



石見銀山和牛串焼き



米の食味分析



農業機械展示コーナー



武術演舞(中国武術 黎明武術館)



大田市立第二中学校 吹奏楽部



「JAふれあい祭」は、組合員、地域住民への日頃の利用に感謝を伝えるため、旧JA石見銀山の時代から毎年開催しています。JAしまね統合後も引き続き開催しており、今年で4回目を迎えます。農産物特売の他、生産組合、組合員組織、JA職員による出店、ステージイベントなど、催しで盛り上がりました。

ステージイベントでは、地元住民による和太鼓や神楽、武術の演舞、地元中学校の吹奏楽部による演奏が行われました。

閉会前には大抽選会も行われ、石見銀山和牛や大田市産の農産物、地元農産物を使用した加工品セットなどが賞品として、当選者に手渡されました。





## ●臨時総代会地区本部説明会 運営体制の改革について説明



総代に議案の説明を行う山崎辰次本部長

J A 石見銀山地区本部は10月23日、地区本部多目的ホールにおいて、総代を対象に臨時総代会地区本部説明会を開催しました。

当日は43名が出席し、第1号議案「定款の一部変更について」、第2号議案「規約の一部変更について」が説明されました。

理事の定数を減減することにより、意思決定のスピードとより深い議論に改善が図られます。

J A しまね臨時総代会は11月8日に出雲市で開催され、全議案が承認されました。

## ●教員退職者寄せ植え講座 J A グリーンおおだ 担当者が講師に

J A 石見銀山地区本部の職員が11月17日に、教員退職者の趣味の会で鉢花の寄せ植え講座を開きました。

寄せ植え講座は会員からも好評で、J A グリーンおおだが依頼を受けて今回で2回目となります。

講師は、J A グリーンおおだで生花を主に担当する丹波泰雄職員。参加者は、丹波職員の指導により、季節の花を鉢に植えました。丹波職員は、花の植え方を指導するだけでなく、今後の管理方法を説明しました。

教員退職者の趣味の会は、互助会活動の一つで、趣味の活動を通じて、近況報告や会員の無事を確認し合う貴重な機会となっています。



鉢花の寄せ植えに取り組む参加者

## ●第12回全国和牛能力共進会 大田市出品対策協議会設立総会 鹿児島全共に向け意欲高める

11月19日、

J A 石見銀山地区本部において、第12回全国和牛能力共進会大田市出品対策協議会設立総会が開催されました。



生産者を激励する楢野大田市長

2022年に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会に向けて、行政やJ A、生産者が集まり、取り組み内容等の確認をしました。

山崎辰次本部長は「全員で力を合わせ、一丸となって全共へ向かいたい」と語りました。

同協議会会長に選任された楢野弘和大田市長も「『和牛王国しまね』の再生に向けて、県内予選の突破と全共での上位入賞を目指して、生産者を支援していく」と生産者を激励しました。

総会では、「同協議会規約について」が提案、承認されました。

島根県では、引き続き鹿児島全共に向け、行政・J A が一体となり、候補牛のリストアップなどに取り組んでいきます。

## ●ユズ初出荷 他県へ出荷

今が旬の大田産のユズ（品種「多田錦」）が11月22日、初出荷を迎えました。20日には、J A 石見銀山地区本部の営農センター集荷所にて受け入れを開始しました。

大田市内では、石見銀山柚子生産組合（和田浩組合長）が市内各地で、ユズ2・5畝を栽培しています。主に、品種「多田錦」を大分県や愛媛県の加工業者へと出荷しています。種がなく、果汁が多いため加工用に適しており、搾汁の他、薄皮を利用して、皮ごと食べることができる羊羹などの加工品にも利用されています。

出荷は12月初旬まで続く見込みで、石見銀山柚子生産組合は、今年約20トンの出荷量を目指します。



選果作業をする選果スタッフ



### ●消費税軽減税率制度研修会 石見大田税務署職員が講師に



講義を行う石見大田税務署職員

J A石見銀山青色申告友の会と大田市農業再生協議会担い手部会は11月21日に、消費税の軽減税率制度研修会を行いました。

2019年10月より消費税率が10%に引き上げられ、飲食料品と新聞に対する軽減税率制度が実施されることに伴い、今回の研修会に至りました。

J A石見銀山青色申告友の会の田原洋司会長は「軽減税率は、農業が関係する部分も出てくる。今日の研修会をきっかけに関心をもってもらうとともに、いい形で軽減税率制度導入後も対応していきたい」と語りました。

研修会では、石見大田税務署の職員が資料を用いて説明しました。軽減税率制度の他、e-Tax（国税電子申告・納税システム）や、4月9日に発生した島根県西部地震の被害に対する所得税等の軽減免除についても説明されました。

### ●農援塾合同研修会 経験者の苦労や、やりがいを参考に

島根県、大田市、J Aの三者が運営する「おのだ農援塾（以下、農援塾）」が11月27日、久手町にある道の駅ロード銀山において、合同研修会を開催しました。

農援塾の塾長や受講者の他、受講生O Bも参加し、意見交換会を行いました。

農援塾塾長の生越大地さんは「農業は辛いこともあるが、楽しみながら続けてもらいたい」と語りました。

意見交換会では、島根県西部農林振興センターの田中孝支所長がコーディネートを務め、農援塾O Bが産直出荷をする上でのやりがいや苦労話等を語りました。



意見交換を行う参加者

### ●千両収穫開始 県内外の市場へ出荷

J A石見銀山地区本部管内では11月下旬から、石見銀山千両の収穫が始まっています。



千両の調整作業を行う岩谷組合長

石見銀山千両生産組合の岩谷敬一組合長の作業場では、出荷に向けて千両の調整作業が行われています。

通常、千両は暖かい気候を好みますが、管内での栽培は、日本国内産地でも寒い地域（北限）での栽培とされています。

大田市の千両は、一本ずつ支柱を立てて管理を行っているため茎が太く、また、日持ちがしやすいので、市場からも好評です。

岩谷組合長は「うちの千両を待っていてくれる人もたくさんいる。今後もし生産面と経営面に力を入れていきたい」と意気込みを語ります。

岩谷組合長は、父親の千両栽培を引き継ぎ、就農して現在14年目。久手町朝山町の寒冷紗30<sup>ア</sup>にて、千両を栽培しています。

収穫された千両は、島根、広島、大阪の市場に出荷する予定です。

### ●川島文さん功労者表彰受賞 地域農業の振興に貢献

温泉津町の認定農業者である川島文夫さんがこの度、島根県各種功労者表彰（農林水産部門）を受賞されました。

この賞は、島根県勢の発展に大きな貢献があった方に送られます。

川島さんは、温泉津町で水稻、キャベツ、レタス等を栽培。長年、後継者育成や食農教育に携わり、地域農業の振興に寄与したことが認められ、今回の表彰に至りました。

「お客さんの喜ぶ顔を見ることが自分のやりがいにつながる」と川島さんは話します。

「後継者を増やしていくためにも経営面を更にレベルアップし、新しいことにも取り組んでいきたい」と、これからの意気込みを語りました。



功労者表彰を受賞した川島さん



# わ い わ い ひ ろ ば

このページは皆様のお便りが頼りです。  
お便りお待ちしております♪

## ● 読者コーナー

■筋力低下予防のため、スクワットを1日50回ぐらいしています。何もない所でつまずくことがなくなりました。気軽にできておすすめです。  
(Mさん)

■先日、三瓶の方へ出かけました。少しずつですが、紅葉も綺麗でした。昨年、三瓶の「浄善寺」へ、大イチョウを見に行きました。想像よりも大きいイチョウの木と黄色く色づいた葉を見て感動！とても穏やかな気持ちになりました。今年もまた、行ってみようと思います。  
(Kさん)

■我が家の庭の植木鉢ですが、ブルーベリーやドーダンツツジ他、紅葉を楽しんでいます。  
(Kさん)

■「きれんげ」のそばクッキーが広島で販売になったそうで、おめでとございます。知り合いの写真が載っていて、嬉しかったです。  
(Mさん)

■今年もいろいろあったけど、月日がどんどん過ぎてしまふと忘れることが多いです！トシワスレとはよく言ったもので、忘れて新しい年を迎えることができる気がします。  
(Hさん)

■パズルの答えは「年忘れ」ですが、今年は忘れたいことがたくさんあった年でした。大きな自然災害(大田地震)、他にも水害、台風…。人間ではどうすることもできないこと、虚しさも覚えます。年を重ねることは、無常を身にしみます。年忘れではなく、ことを反省して、これから何ができるのかを考える年末にしたいものと思います。  
(Iさん)

⑩11月号のクロスワードパズルの答えは「年忘れ(トシワスレ)」でした。今年はどうな年だったでしょうか？平昌オリンピックのメダルラッシュから4月の島根県西部地震夏には豪雨災害と、明るいニュースや暗いニュースといろいろありました。いよいよ来年からは新元号となります。平成最後のお正月を楽しんでお過ごしください。今年も1年間「JAしまねびより」をご覧いただき、ありがとうございました。





# 医療法人 郷原医院 健康豆知識



院長 福田 亮先生

## 安心してください！聞いてますよ

12月は雑談です。「パソコンばかり眺めて患者の顔も見えない」との不満からか、電子カルテは患者さんに不人気です。電子カルテは、診察、検査、会計が一体なので、診察室で全ての情報を入力しないと、患者さんの採血や会計ができません。じっくり顔を見て、話を聞いて、診察して、患者さんが診察室から出てから入力していたら、その間、検査も会計も進まず、後の患者さんの待ち時間が無限に長くなります。そのため、患者さんの話を聞きながら、同時に入力しないと間に合いません。ただ、安心してください。患者さんの話は聞いてます！私も幾つか病院を受診しますが、担当の先生は皆、パソコンを眺めて話をします。それでも特に不安に感じないのは、入力しながらきちんと診療をしていることが分かるからです。しかし、現実的に入力がかたしいと、患者と医師間のコンタクトが疎遠になり、何となく温かみを感じ

られないとか、あれこれ聞こうと思っていたのに聞ける雰囲気ではなく、何も聞けなかった等々、こちらにはそういう気持ちは無いのですが、患者さんによっては、満足度が下がる可能性も出るかも知れません。患者さんの話を聞くと、どんな病気かは幾つか候補が頭の中に浮かぶので、後は診察しながら確認するという作業になります。診察すると、前回無かった心雑音、前回触れなかった腹部腫瘤など、医学の不確実性を痛感させられるようなことはよく経験しますので、私は必ず身体診察をするようにしています。元々電子カルテは、スムーズな受診、診察、会計を助けるためのもので、これに時間が掛かっては本末転倒です。患者さんが診察室に入ると同時にパソコンを打つのは、その意味で患者さんのためでもあるのですが、なかなか理解が進みません。ともあれ、聞きたいこと、不安なことは、遠慮せず尋ねてみてください。

### 石見銀山地区本部管内 11 月子牛市場ランキング ベスト5 (本人取り除く)

「JA石見銀山地区本部畜産課の皆様の御指導で、良い成績を上げることができました。これからも健康と安全防止の為に頑張ります。」



**又キ最高**  
大田町 山崎 博さん

「本牛は、地元優良牛の受精卵を活用した、温泉津町和牛改良組合の牛群改良活動の一環で生産された子牛で、地元保留のおかげで成績にまりました。しっかりと貢献してくれることを念願しています。」

#### 温泉津町井田



**メス最高**  
本牛：「やまと号」(県種雄牛「奥華栄」の叔母さんです)  
受精卵生産者：奥田 康延さん (中央)  
子牛生産者：厚朴 邦広さん (左)  
購買者：吉田 淳一さん (右) (後方：新築中の牛舎)

順位	地区	氏名	体重	日齢	父	祖父	祖祖父
1	大田	山崎 博	321	243	隆之国	安福久	勝忠平
2	水上	榎大田原農場	326	286	百合茂	安福久	勝忠平
3	富山	白石 祐	304	282	隆之国	百合茂	勝忠平
4	水上	榎大田原農場	293	280	美国桜	忠富士	福之国
5	志学	高田 雅晴	324	283	勝洋	平茂晴	安福久

順位	地区	氏名	体重	日齢	父	祖父	祖祖父
1	井田	厚朴 邦広	291	276	安福久	勝忠平	金幸
2	水上	榎大田原農場	294	285	百合茂	安福久	勝忠平
3	水上	榎大田原農場	264	282	美国桜	忠富士	福之国
4	富山	大谷 幸雄	303	251	久茂福	美穂国	忠富士
5	大森	竹下 弘	302	272	久茂福	恵茂勝	茂重桜

### 11 月子牛市場の成績表

(本人取り含む・金額は税込)

種別	市場	取引頭数	最高価格	最低価格	平均価格	対前月	対前年同月	平均体重	平均日齢
メス	管内	17	1,758,240	349,920	720,868	134,769	72,292	260	272
	中央	108	1,758,240	100,440	676,960	62,315	8,724	271	276
	県	154	1,758,240	100,440	659,368	44,723	-4,937	273	278
又キ	管内	23	949,320	572,400	759,005	18,881	-14,635	288	269
	中央	129	1,001,160	236,520	773,665	18,387	-13,451	295	265
	県	191	1,001,160	236,520	767,524	12,246	-8,950	299	268

# 子牛市場

11月14日

# ニラは 早めの株分けと更新

板木技術士事務所 ● 板木利隆

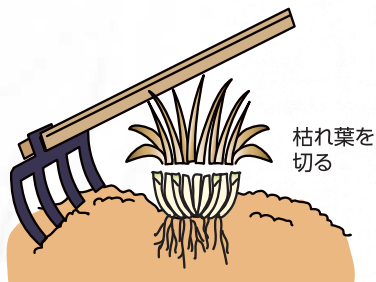
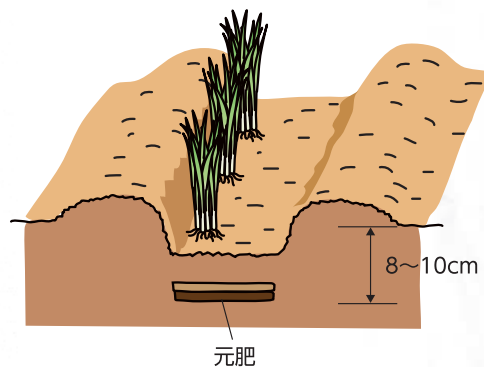
肉との料理の相性が良く、スタミナ料理などに親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した野菜といえましょう。しかし、いくら強いといっても2~3年取り続けると、株が密生気味となり、幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまいます。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。

株分けに一番良い時期は、葉が枯れ根株が休眠状態に入っている冬の間です。この頃は根に栄養が十分蓄えられているので、断根や株の分割という荒療治をしても、傷みが少なく、作業がしやすいからです。

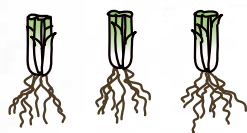
株分けの方法は、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmぐらいの高さで、鎌できれいに刈り取ります。そして株の周りによくわかさコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします。根は強大で、密に広範囲に広がっているので、全てを一気に掘り取れないので、途中で縦に切断しても構いません。

掘り上げたら土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大割りし、さらに小割りして、図のように2~3本ずつに分割します。これを2~3個まとめて、20~25cmの株間に植え付けます。

植え溝は事前に、8~10cmぐらいに深めに掘り、元肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十



力を入れて大きく掘り起こす



指先で2~3本ずつに分割する

分に施しておきます。植える際には、根株を束ねないで、平置きにするよう心掛けましょう。

溝は深めに掘って植えた根株を換気や乾燥からも守ってやります。覆土は株の上部がやや出るくらいにとどめておき、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。

そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い、良質なニラになります。

株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で、通常古株は利用しません。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



## 平成30年度 鳥根県種畜共進会を開催

平成30年10月20日（土）に鳥根中央家畜市場で開催し、県内各地域から選抜された肉用種牛46頭、乳用種牛32頭、合計78頭を比較展示し、改良の成果を競い合いました。快晴に恵まれ、多数の来場者があり盛況となりました。

最高位のグランドチャンピオンに、肉用種牛の部は第4区（成雌牛）の隠岐の島町 高井 芳江さん出品牛「しげしげ」号、乳用種牛の部では第6区（経産牛B）の出雲市 永瀬哲也さん出品牛「IDEE サンチエス ルイ ET」が選ばれました。

また、JA女性部和牛審査競技会も同時に開催し、農林大学校、高等学校、JA女性部から合わせて11チームの出場により、和牛審査眼を競いました。雲南市のSAKURA姫が優勝されました。

各受賞結果は以下のとおりです。

### ●種畜共進会 受賞結果

受賞区分	第1部（肉用種牛の部）			第2部（乳用種牛の部）		
	出品No.	市町村	氏名	出品No.	市町村	氏名
グランドチャンピオン	31	隠岐の島町	高井 芳江	604	出雲市	永瀬 哲也
第1区首席				104	出雲市	河村 保志
第2区首席				208	安来市	砂流 啓二
第3区首席	16	奥出雲町	金倉 弘美	303	出雲市	和田 健敏
第4区首席	31	隠岐の島町	高井 芳江	402	出雲市	長廻 康治
第5区首席	91組	大田市	吉田 淳一	503	出雲市	河村 保志
第6区首席				604	出雲市	永瀬 哲也

### ●JA女性部和牛審査競技会 受賞結果

受賞区分	地区本部	名称
優勝	雲南	SAKURA姫
準優勝	高等学校	鳥根県立矢上高等学校A
第3位	石見銀山	富山町和牛改良組合畜産婦人部
最優秀選手賞	雲南	SAKURA姫 武田 京子
敢闘賞	高等学校	鳥根県立出雲農林高等学校B 福島 菜月



第1部  
肉用種牛 グランドチャンピオン  
隠岐の島町 高井 芳江さん



第2部  
乳用種牛 グランドチャンピオン  
出雲市 永瀬 哲也さん



JA女性部和牛審査競技会  
優勝 雲南地区本部  
SAKURA姫の皆さん

## JAしまね統合3周年企画旅行

あなたの夢を買ってつなぐ。

**FDA 直行チャーター便利用!!**

FUJI DREAM AIRLINES

大河ドラマ「西郷どん」ゆかりの「奄美大島」と沖縄人気NO1離島「石垣島」を巡る

**石垣島・西表島・竹富島・由布島 4島巡りと**

**南の楽園 奄美大島 3日間**

2泊とも2名様より1部屋ご用意

**出雲縁結び空港発着**

旅行実施日 平成31年

**2月12日(火)~14日(木)**

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起点・税込)

**149,800円**

※別途燃油サーチャージ1,950円が必要となります。  
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。  
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

**萩・石見空港発着**

旅行実施日 平成31年

**2月13日(水)~15日(金)**

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、萩・石見空港起点・税込)

**149,800円**

※別途燃油サーチャージ1,950円が必要となります。  
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。  
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

現地では  
JAしまね統合3周年企画として  
**JA特産品が当たる  
抽選会を実施!!**



掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求下さい。

**TOUR** 株式会社 農協観光

- 農協観光島根支店 ☎0852-26-2600
- JAしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305
- JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008
- JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699
- JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625
- JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820
- JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118
- JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501
- JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

老後の備えとして

国が支える

積立方式で  
安心

# 農業者年金

次の3つの要件を満たす方であれば、  
どなたでも加入できます。

年間60日以上  
農業従事

国民年金1号  
被保険者

国民年金保険料  
納付免除者を除く

60歳未満

農業者年金の特徴

- 積立て方式で安心
- 加入・脱退も自由
- 保険料は全額社会保険料控除
- 保険料はいつでも変更できる
- 農業の担い手には保険料補助
- 終身年金 80歳までの死亡一時金あり

## 農業者年金の特徴

### 1 農業に従事されている方は誰でも加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く。）であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。

家族一人ひとりの年金を！今、女性の新規加入者が増えています

### 2 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万～6万7千円の間で千円単位）、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

### 3 税制面で大きな優遇措置があります

- 支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります（支払った保険料の15%～30%程度が節税）。
- 農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益（保険料の運用益）は非課税です。
- 将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。（65歳以上の方は公的年金等の合計額が120万円までの場合は、全額控除できます。）

つまり入口から出口まで税制上の優遇措置があります

まだまだあります。こんな特徴▼

- 4 少子高齢時代に強い年金。年金資産は安全性を重視して運用しています
- 5 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります
- 6 認定農業者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります

詳しくは… **農業者年金**

検索

<https://www.nounen.go.jp>

独立行政法人農業者年金基金

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会がJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

☎03-3502-3942（企画調整室）

大田市農業委員会 ☎0854-83-8135 / JA金融課 ☎0854-82-3610

☎03-3502-3199（専門相談員）

## 年末・年始ATM休止のお知らせ

年末・年始のATM利用時間等は以下のとおりです。  
ご利用の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

設置場所	利用可能時間		〇＝稼働 ×＝稼働なし			
	年末(12月31日)、年始(1月1日～2日)	終了	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日
JAグリーンおおだ	9:00	18:30	〇	×	×	
大田市立病院	休 止					
イオン大田店	9:00	20:00	〇	〇	〇	
石見銀山支店	9:00	20:00	〇	〇	〇	
大田中央支店	9:00	17:00	〇	〇	〇	
大田市役所	休 止					
大田東支店	9:00	17:00	〇	×	×	休 止
富山購買店舗	休 止					
三瓶支店	9:00	17:00	〇	×	×	
高山支店	休 止					
温泉津支店	9:00	17:00	〇	×	×	
井田購買店舗	休 止					
仁摩支店	9:00	17:00	〇	×	×	

## 本気でブドウ生産者を目指す方を募集します！！

### ■おおだ農援塾『ブドウづくり講座』を新たに開講します。

大田市の特産品として評価の高いブドウの担い手育成と生産拡大を目指して『ブドウづくり講座』を来年4月から新たに開講します。

鳥根県で栽培が盛んな“デラウェア”、近年人気の高い“シャインマスカット”の栽培管理を1年間通して学び、将来はブドウ生産者を目指します。

### ■受講生の募集は、平成31年1月頃から開始予定です。

※詳しい講座内容は、1月のJA「ふれあいの日」にてお知らせいたします。

※『産直野菜づくり講座』『柿づくり講座』『ハウス野菜栽培実践講座』もこれまで通り募集予定です。



■お問い合わせ ■ **【おおだ農援塾事務局】大田市農業担い手支援センター（大田市役所 産業振興部内）**  
☎0854-83-8091 FAX：0854-82-9731



ぎんぎんテレビで放送♪

# 地サン地ショー

Chisun Chishow Cooking

## クッキング

### 今月の料理

## 「おせち料理にもう一品」

### 今月の先生

現代の名工  
片地 六治郎さん



### ①錦玉子(二食卵)

#### <材料>

卵..... 6個

#### <作り方>

- ① 卵を湯に入れ、塩、酢、各少々入れ、8分ほど茹でる。
- ② 出来たら殻をむき、黄身、白身を別々にする。
- ③ 卵6個に対し、砂糖:大さじ3、塩:小さじ1/6で味付けする。
- ④ 裏ごしして型に入れ、蒸して、冷ましてから切る。

### ②穴子のごぼう(八幡)巻き

#### <材料(4人分)>

穴子..... 1匹  
 ごぼう..... 1本(20cm程度)  
 合わせ調味料: 出汁、醤油、みりん、酒  
 (分量…出汁2:醤油1:みりん1:酒1)

#### <作り方>

- ① 穴子を開き、ぬめりを取る。ごぼうは丸のまま四割りにして茹でる。(ごぼうの長さは20cm程度)
- ② 巻き方は自由、出来たものを合わせ調味料で煮て、出来上がり。



### ③若鶏のむね肉煮込み

#### <材料(4人分)>

鶏むね肉..... 1枚 卵..... 4個 きくらげ..... 2枚  
 にんじん..... 1/4 銀杏..... 12個 百合根..... 4枚  
 モロッコ豆..... 2個  
 煮込み汁(酒:150cc みりん:150cc 醤油:150cc)  
 (沸かしたら味見して、砂糖で好みの味に調整)

#### <作り方>

- ① 鶏むね肉の外側に焼き目をつけ、鶏むね肉を袋状に切る。
- ② きくらげ、にんじん、銀杏、百合根などは細かく刻んで、お吸い物より少し濃い目のものと一緒に炊いておき、卵でとじる。
- ③ 袋状になった鶏むね肉の中に詰め物をして、爪楊枝で入り口を止めたら煮込む。
- ④ 肉に火が入れば出来上がり。照りをつけるために、煮汁を煮詰めて絡める。

提供: 石見銀山産直出荷者協議会

## 年金無料相談

複雑な年金手続きのお手伝いをいたします。  
どなたでもお気軽にご来店ください。

1月20日(日) JA大田東支店 ☎0854-82-8514

※時間は9:00~15:00

## JA グリーンおおだ

# 1月1日(火)・2日(水)は、休業日です。

- ・毎月5のつく日はポイント5倍!
- ・毎月0のつく日は玉子が半額!
- ・毎週火曜日は火曜均一セール!
- ・毎週木曜日は午後4時から夕方市!

## クリスマスリースサラダ(シーザードレッシングかけ)



サラダをリースのように盛り付けます。シーザーソースも家庭で簡単に作れます。レシピ以外に、パプリカ、カリフラワー、人参や豆、リボンパスタ、ハムなど家庭にあるものを使って楽しく作ってみてください。

### ●材料 (4人分)

ブロッコリー……………	1/2個	紫貝割れ……………	少々
ベビーリーフ……………	1パック	パルメザンチーズ	
アボカド……………	1/2個	黒こしょう……………	少々
水菜……………	1/3袋	① マヨネーズ……………	大さじ3
レタス……………	少々	② 牛乳……………	大さじ2
プチトマト……………	5個		

### ●作り方

- ①ブロッコリーは小房にわけ縦に切り、沸騰した湯でさっとゆでる。
- ②レタスは食べやすい大きさに手でちぎる。
- ③水菜は4～5cmぐらいに切る。
- ④アボカドは皮をむき種をとり1cmぐらいに切る。
- ⑤①のマヨネーズ、牛乳を混ぜる。
- ⑥野菜を皿に入れリースのように飾りながら盛り付ける。
- ⑦⑤のソースとパルメザンチーズ、黒こしょうを食べる直前にふる。

## 鶏ハム



クリスマス、お正月に使える、簡単鶏ハムです。パサパサせずしっとりとした仕上がります。

### ●材料 (2本分)

鶏むね肉……………	2枚	ハーブソルト	
塩……………	小さじ2	黒コショウ	
砂糖……………	小さじ2	付け合わせ野菜	

### ●作り方

- ①鶏むね肉は皮を取り、厚い部分は開き均一にする。
- ②塩、砂糖をすりこみ袋に入れて2～3時間寝かせる。
- ③流水で洗い水気を取り、片面にハーブソルト、黒コショウをふる。
- ④ラップを鶏むね肉の2倍ぐらいの長さに敷いて、ハーブソルトをかけた方を内側にして巻き、ラップの両側をキャンディーのように包み輪ゴムでとめる。
- ⑤沸騰した湯に入れ15分～20分ゆでて火を消し、フタをしてそのまま冷ます。

### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は「牛とふれ合う子どもたち」です。雲南地区本部は食農教育の一環として、地元の子供たちを対象としたあぐりキッズスクールを開校しています。今年は畜産関係を主に学んでおり、その中で県種畜共進会を訪れたときのひとコマです。大きな牛に興味津々な子どもたちと牛の穏やかな表情を暖かいタッチで描いていただきました。

### 編集後記

今年も残すところ後わずかとなりました。寒い日が続きますが、体調に気をつけて過ごしたいですね。「JAしまねびより」では、今年も地域の様々な話題をご紹介させていただきました。来年もホットな情報をお伝えするため、編集一同、イノシシのように走り回ります！ (和)



【今月の表紙の原画】  
原画の全体は次のとおりです。